

NDS 環境だより Vol.16

※『環境だより』とは、大阪エヌデーエスが環境への取り組みの一環として、社外の環境について好影響を及ぼす働きを展開することを目的とし、社員、パートナーの皆様のご家族向けに作成したパンフレットです。

今回のテーマ： 「マイecoプラン」

大阪エヌデーエスでは、2017年度環境目標に
『マイecoプランー職場、地域、家庭でのECO推進』
～一人ひとり、社員全員が身近なECOへの取り組みを～
を掲げ、CO2削減に向け身近なECOに取り組みました。

- 会社でeco：仕事を効率化し、休日出勤・残業時間を減らすことで、空調などの電気使用量を削減する
 - 地域でeco：居住する自治体が主催、紹介する環境関連イベントへの参加する
- の2点を重点項目として、社員一人ひとりが目標を定めて行動するというものです。

💡 QMS コラボ！ 残業・休出を減らす工夫をして、電力使用量を削減

大阪エヌデーエスでは、仕事の品質向上のための目標にも取り組んでいます。

2017年度品質目標に掲げたのは、作業時間(残業時間)のコントロールです。
『計画的、効率的に業務をおこなって作業時間(残業時間)をコントロールし、プライベートの時間を確保してリフレッシュする。それによりモチベーションを維持し、生産性や品質の低下を防ぐ』

環境目標と品質目標がコラボして、仕事を効率化し残業時間をコントロール。電力使用量を削減し、仕事の品質向上を推進しました。

具体的な行動の一例は以下のとおり

- ★机、PCの中を整理整頓し、探し物時間のムダをなくす
整理整頓されている机は気持ちが良いです。
更なる効率upが見込まれます。
- ★会議は、前もって準備して、開始・終了時間を厳守する
待ち時間や残課題がなくなりムダがなくなります。
- ★「失敗の記録」を作成する。
同じ失敗を繰り返すムダをなくします。

年度を通しての評価はこれからですが、上期の評価では3段階評価で3という評価結果も出ています。
やはり仕事に対するメリハリが良い効果となっていると思います。
あとは継続あるのみ(継続は力なり!!)



EMSジャーナルのコラム紹介

毎月1回発行される社内メールマガジンの『EMSジャーナル』では、社員が持ち回りで寄稿するコラム欄があり、環境に関連するさまざまな話題が掲載されます。そんな『EMSジャーナル』のコラムを、いくつか紹介します。

EMSジャーナル No. 142 17.6.23発行

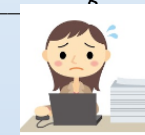


S
S
S
S

残業時間を減らす工夫
～ from 1Gr. (Y. Kさん執筆)

S
S
S
S

今年環境目標は「残業時間を減らして電力消費を減らす」を一つの大きな目標としています。
そこで残業時間を減らす方法を調べてみました。



- 「考える時間」と「作業の時間」を分ける
考えながら作業をすると、作業中に考えが変わった時に手戻りが発生するため、考えがまとまってから作業に着手しようという内容です。私は設計書を書きながら考えをまとめようとする事があり、途中で考えが変わって、書いた内容が無駄になることがあります。
考える時間を分けるという方法は、確かにその通りだと感じました。
- 迷わない
迷う時間を決めて、早めに周りの人に相談すること、という内容です。私は作業中にどちらがよいのかを迷って時間を使ってしまいました。また、相談しようとしても相談する内容をまとめるのに時間がかかることもあります。
迷う時間を設定する際は相談内容をまとめる時間も考慮して時間を設定する必要があると思いました。
- 複数人で、同じことをしない
例えば、人をお願いした作業について気になって、結局自分でも同じ作業をしてしまうことがあります。それでは、結局自分の作業時間は減っていません。思いきって、人に任せてみませんか。私は最近、人に作業をお願いするのは、その人を信頼しているからできることだと感じています。
周りの人を信頼することから始めてみてはいかがでしょうか。

参考元：<http://eln-taka.com/post-824/>

今年度目標とマッチした内容の寄稿です。残業時間削減の工夫は、電力消費を減らすことになり仕事効率(生産性)アップ、帰宅時間が早くなる など、すべていいことづくめですね。



S

ふんわりアクセルはNG!?
～ from 2Gr. (N. Aさん執筆)



なにやら今までの当たり前を覆すようなサイトがありましたので、紹介させていただきます。

ご存知の方も多いかと思いますが、「ふんわりアクセル」とは、自動車の発進を普通の発進よりも少し緩やかに発進するだけで11%程度燃費(km/L)が改善するということが推奨されている運転方法です。

しかしながら最近ニュースで出ていたサイトが言うには、ゆっくりとした加速は、仮に自分の燃費は良くなって、一回の青信号で通過できるクルマの台数が減るなど、社会的にトータルで考えたら低燃費と言えないし、そもそも交通の流れを乱すということらしいです。

確かに高速道路などでも遅い車が起因となって、大渋滞が発生することが実証されていたので、あり得る話のように思います。

私は妻の実家に帰省するのに中国自動車道をよく利用しますが、朝夕は必ずと言っていいほど「宝塚トンネル」付近で渋滞しています。ここはトンネルに向かって坂になっているので、無意識に運転しているドライバーの速度がどんどん遅くなり、後続車がブレーキを踏むとその後続車のブレーキは順に長くなっていくので、全体の速度が低下するようです。

個人の利益も大事ですが、全体の利益も考えた行動も大事なようです。もちろん周りに車がないときの「ふんわりアクセル」はエコになるのでOKです。ちなみに私はあまり「ふんわりアクセル」はやりませんが、後続車がないときに減速しながらバッテリーに電気が貯まる回生制動をこれでもかというぐらいやっているの、燃費を稼いでいます。

参考：「ふんわりアクセルはNG!? 本当にエコなアクセルの踏み方とは」
<https://www.webcartop.jp/2017/07/134736>

参考：「中国道“名物”「宝塚トンネル常時渋滞」の本当の理由」
<http://www.sankei.com/west/news/140421/wst1404210003-n1.html>

参考：「ふんわりアクセル(eスタート)」
https://www.recoo.jp/ja/ecodrive/ed10_01.html

“あちら立てればこちら立たず” かもしれませんが、もっと方法があるかもしれないし、良いところ取りすれば更なるエコも可能ですね。



S

茶殻の再利用
～ from 5Gr. (H. Mさん執筆)



新人は朝当番として給湯係りを務めています。その際、前日使用された茶殻の処分も行いますが、一晩経っても水分を含んでいます。水分の多い生ごみを焼却しようとする、その分多くのエネルギーが必要になります。そこで、普段はそのままごみとして捨ててしまう茶殻の再利用方法について調べてみました。

① 掃除

湿ったままの茶殻を玄関にまき、ほうきで掃き集めます。埃を湿った茶殻が吸着してくれるので、埃がたたく掃除がしやすいです。バックに入った茶殻をスポンジの代わりにして皿や流し台を磨くことで汚れや油分が取れやすくなります。

② 消臭

茶殻を軽く絞ったものを冷蔵庫に置いたり、三角コーナーの生ごみの上にかぶせるだけでも脱臭剤の代わりになります。十分乾燥させたものは、いらぬ靴下やストッキングに入れて靴箱に置くと、臭いを取るだけでなく、周りの湿気も吸ってくれます。

③ 食べる

炒って乾燥させた茶殻に塩や鰹節を混ぜてふりかけにする。クッキーやホットケーキに混ぜてお茶風味のスイーツを作る。そのほかにも、茶殻の天ぷらや佃煮など、さまざまな料理に再利用されていました。

今回ご紹介したものの以外にも、肥料にしたり、入浴剤にする、枕に入れて芳香剤として利用したりと、たくさんの活用方法が見つかりました。茶殻には抗菌作用や消臭効果があり、さらには栄養もあります。飲み終わった後の茶殻にも、その効果はまだ残っています。ただ飲んで捨ててしまうのではなく、生活に少し役立ててみてはいかがでしょうか。

茶殻は飲料メーカーでも栄養面から家畜のえさにしたり、消臭、殺菌効果を活かして、紙製品、建材、樹脂に配合したりと、リサイクルが進んでいるようです。MOTTAINAIの代表格と言えるかも知れませんね。

■ 編集後記 ■

茶殻の再利用は、身近なことでも今までに何かもったいないなあ、再利用できないかなあと思っていた事がらでした。改めて調べてみると他にもいろいろあり勉強になりました。検索ツールとして、スマホが常に手元にあるので、疑問に思ったことを調べるクセをつけた方がいいと感じました。(今さらながらですが)